

資料 2 - 1

2007-1-19

# 地球温暖化対策の取組みについて

日本製紙連合会

## 【 地球温暖化対策自主行動計画目標 】

### （ 2004年11月改定 ）

- ①2010年度までに製品当たり化石エネルギー原単位を1990年度比13% (←10%) 削減し、CO<sub>2</sub>排出原単位を10% (新規) 削減する。
- ②2010年までに所有または管理する国内外植林地面積を60万ha (←55万ha) に拡大する。

# 2006年度環境自主行動計画フォローアップ調査結果

調査対象 : 正会員等40社（他事業の比重の高い1社を除く、非会員3社を含む）

回 答 : 36社103工場（回答103工場の2005年度における紙・板紙生産シェアは対象会社合計の99%、全製紙会社合計の89%を占める）

調査項目 : ①工場別燃料・購入電力消費量

- ・ 対象年次：1990年度～2005年度（16年間）

- ・ 工場の全消費量、紙パルプ用以外の消費も含む。

ただし販売電力の発電に相当する燃料消費は控除。

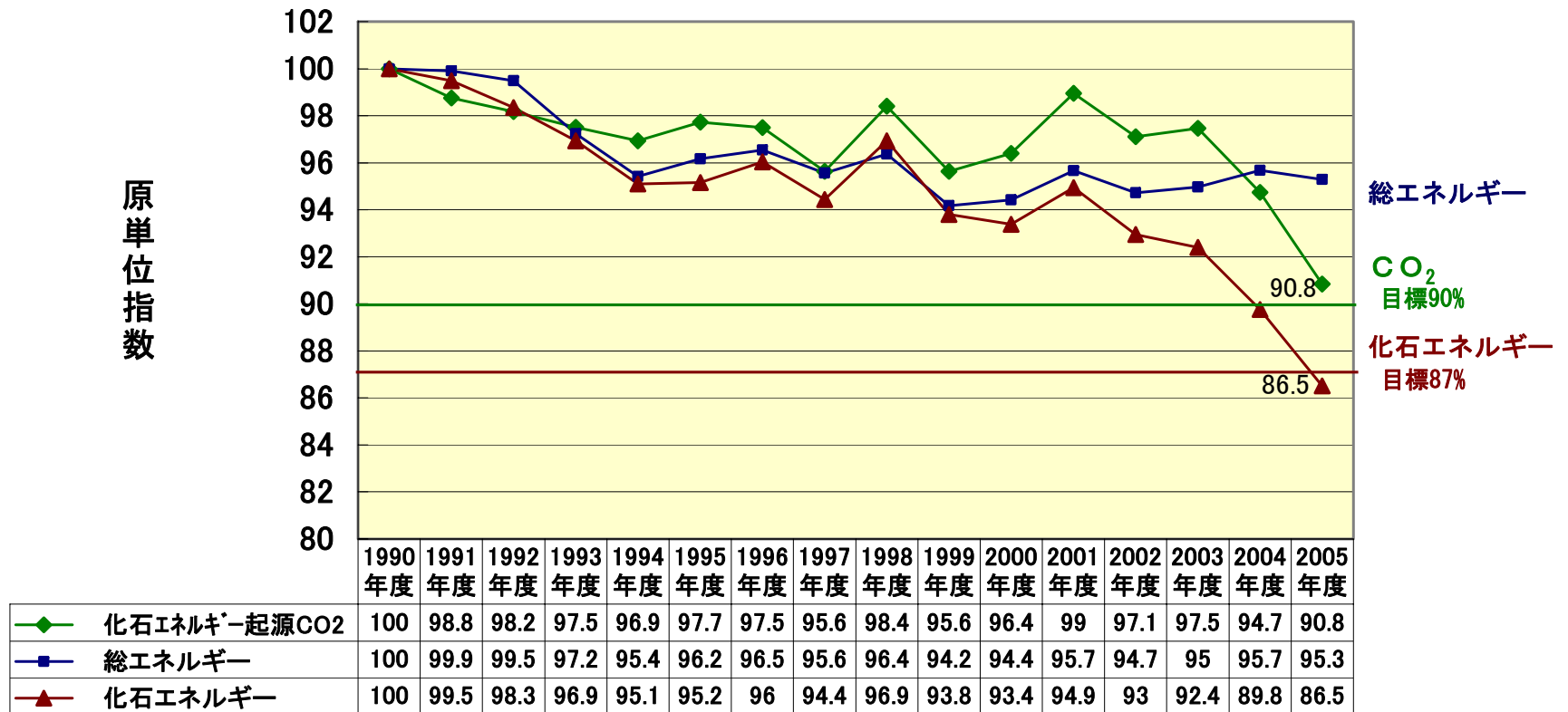
②工場別の紙・板紙・パルプ生産量

③2005年度化石エネルギー原単位の改善・悪化理由

④2005年度に実施した省エネルギー投資および燃料転換投資

⑤今後の対策・計画 等

# 化石エネルギー原単位指数およびCO<sub>2</sub>排出原単位指数の推移



## 2年連続して大幅改善

	2004年度	2005年度	
化石エネルギー原単位	89.8%	86.5% (▲3.3pt)	目標(87%)を若干上回った
CO <sub>2</sub> 排出原単位	94.7%	90.8% (▲3.9pt)	目標(90%)に近づいた

## 燃料転換投資の推移

2002年度以降、燃料転換投資を強化している。

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
投資額 (百万円)	24	0	6,650	7,826	18,412	17,714
化石エネルギー削減量 (TJ/年)	151	0	908	3,878	9,046	13,428
” 起源CO <sub>2</sub> 削減量 (千t/年)	3	0	43	258	494	1,016

## 今後の投資計画(2006~2010年度累計)

2,200億円強の投資を計画しており、その約7割が燃料転換投資である。

	投資予定額 (百万円)	化石エネルギー削減量 (TJ)
省エネルギー投資 汎用投資	24,247	27,225
// 大型投資	49,114	8,060
燃料転換投資	147,217	36,330
合計	220,578	71,615

(注)省エネルギーの汎用投資は2億円/件未満、大型投資は2億円/件以上としている

# 2010年度試算

化石エネルギー原単位およびCO<sub>2</sub>排出原単位ともに、目標達成は可能と判断している。

	生産量 (千t)	化石エネルギー		CO <sub>2</sub>	
		消費量 (TJ)	原単位 (MJ/t)	排出量 (千t)	原単位 (t-CO <sub>2</sub> /t)
1990年度実績	25,419	365,458	14,377	25,419	1.000
指数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2005年度実績	27,602	343,291	12,437	25,074	0.908
指数	108.6	93.9	86.5	98.6	90.8
2010年度試算	28,000	329,561	11,770	23,910	0.854
指数	110.2	90.2	81.9	94.1	85.4
2010年度目標			87%以下		90%以下
2010年度試算	購入電力の炭素係数改善がなかった場合、			24,418	0.872
指数	CO <sub>2</sub> は右記のとおりとなる。			96.1	87.2

## 植林面積の推移

目標の89%に達しており、達成は問題ないと考えている。

単位：(千ha)

	1990 年度	1995 年度	2000 年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2010年
国内	146	144	128	125	121	139	151	150	目標
海外	129	178	278	301	342	353	355	386	
合計	275	322	406	426	463	492	506	536	600
対目標(%)	46	54	68	71	77	82	84	89	100

注)2003年度以降の国内は関連会社分を含む



## 民生部門(間接部門)の動向(2005年度実績)

製造部門の値の0.1%程度か、それ以下であったが、各社はチーム・マイナス6%活動や、クール・ビズ活動、ウォーム・ビズ活動を実施して、意識高揚を図っている。

	延べ床面積 m <sup>2</sup>	エネルギー消費量		CO <sub>2</sub> 排出量	
		TJ	MJ/m <sup>2</sup>	千t-CO <sub>2</sub>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
本社・営業所	105,506	156	1,475	7	68
研究所	71,887	164	2,282	7	97
倉庫	399,524	92	230	6	15
合計	576,917	411	713	20	35

2005年度の化石エネルギー消費量(製造工程) 343,291 TJ

// 化石エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(製造工程) 25,074 千t

## 運輸部門の動向 (2005年度実績)

製造部門の値の2.5%前後であった。なお、輸送距離500km以上のモーダルシフト化率は約80%で、わが国の平均値(40%前後)を大きく上回っている。

	輸送トン数		輸送トンキロ		エネルギー消費量		CO <sub>2</sub> 排出量	
	万t	%	億トンキロ	%	TJ	%	千t-CO <sub>2</sub>	%
船舶	634	27	63	52	3,491	37	247	40
鉄道	303	13	22	18	1,073	12	48	8
トラック	1,428	60	37	31	4,769	51	327	53
合計	2,365	100	122	100	9,333	100	622	100

2005年度の化石エネルギー消費量 (製造工程) 343,291 TJ

// 化石エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (製造工程) 25,074 千t

(参) 500km以上の輸送 船舶568万t (62%) 鉄道174万t (19%) トラック170万t (19%)